

# 「おかやま四ツ☆子牛」認定率上昇中！！

和牛子牛の資質向上を目的に実施している「おかやま四ツ☆子牛」（以下、「四ツ☆子牛」という）の取り組みも、今年で10年目を迎えました。畜産農家の皆さんや関係機関の協力により、その取組成果が着実に上がってきているのでご紹介します。

## 四ツ☆子牛の市場評価は？

四ツ☆子牛の認定基準は、右記のとおりです。これらの基準を満たした四ツ☆子牛の直近5年間の認定率と価格動向を表1に示しました。認定率は、この5年間で13.0%から21.6%と着実に上昇しています。

また、四ツ☆子牛認定牛とそれ以外の子牛との価格差は、昨年度7万5千円となり、1割以上高値で取引されています。これは、生産者だけでなく購買者においても、この認定制度が浸透してきたことが示されています。

次に、子牛市場出荷牛の追跡調査を行い、判明した枝肉成績を表2に示しました。四ツ☆子牛は、枝肉重量、ロース芯面積ともに大きく、肉質面においても肉質等級4等級以上の割合が全体平均より10ポイント以上高く、四ツ☆子牛の高い評価を裏付ける結果となっています。

## おかやま四ツ☆子牛認定基準

☆ 出荷日齢	雌：225日齢以上285日齢未満 去勢：215日齢以上275日齢未満
☆ 体高及び胸囲	全国和牛登録協会が示す発育基準の1σ以上
☆ 胸囲と腹囲の差	22cm以上
☆ 過肥、著しい瑕疵、損徴のないこと	

表1 四ツ☆子牛認定率と販売価格の動向(全体)

(円:税抜)

	上場頭数	四ツ☆子牛			四ツ☆子牛以外価格	差額
		頭数	認定率	平均価格		
H24年度	3,020	393	13.0%	429,054	375,615	53,439
H25年度	2,944	511	17.4%	508,561	450,259	58,302
H26年度	2,682	495	18.5%	552,157	496,406	55,751
H27年度	2,632	466	17.7%	656,434	592,792	63,642
H28年度	2,530	546	21.6%	786,952	711,580	75,372

表2 四ツ☆子牛の枝肉成績

区分	子牛市場での成績							その後の枝肉成績							
	頭数	日齢	体重	体重σ	体高	体高σ	胸腹差	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯	脂肪交雑	4・5等級	5等級	歩留	
去勢	全体	7,547	261	281.5	0.80	115.1	1.16		28.7	486	56.1	5.99	69%	22%	87%
	数値不適*	5,650	266	276.5	0.41	114.5	0.81		28.9	478	55.6	5.88	66%	20%	87%
	四ツ☆子牛	1,120	247	296.1	1.89	116.8	2.18	26.6	28.5	507	58.6	6.45	79%	28%	88%
	不合格	777	246	297.3	2.02	116.6	2.17	27.7	28.3	510	56.9	6.18	67%	24%	80%
	(うち過肥)	238	247	299.1	2.04	116.1	1.94	27.5	28.4	502	55.2	6.16	73%	23%	83%
雌	全体	3,340	271	265.4	0.59	111.7	0.47		29.6	441	55.4	5.73	60%	18%	82%
	数値不適*	2,902	274	262.2	0.41	111.2	0.23		29.6	435	55.0	5.67	59%	17%	82%
	四ツ☆子牛	235	255	284.5	1.63	114.9	1.83	26.0	29.3	480	59.3	6.23	74%	21%	84%
	不合格	303	256	281.9	1.52	114.4	1.65	27.3	29.2	469	56.4	5.88	62%	21%	81%
	(うち過肥)	170	258	287.4	1.64	114.5	1.63	26.9	29.2	470	55.8	5.86	66%	19%	77%

\* 日齢及び体測値の不適合

## 四ツ☆子牛の発育は？

去勢と雌について、体高の $\sigma$ 値（標準偏差：1 $\sigma$ を超えると上位16%以内に入る）を図1に示しました。四ツ☆子牛の体高の $\sigma$ 値は、去勢で2 $\sigma$ 以上、雌で1.5 $\sigma$ 以上となりました。四ツ☆子牛以外についても、平均体高 $\sigma$ 値は、去勢では平成25年から1 $\sigma$ を超えるようになりました。一方、雌では、1 $\sigma$ には届いていませんが、標準発育を上回っており、値は年々上昇しています。

これは、認定制度の取り組みにより生産者の意識が変わり、四ツ☆子牛の認定基準を目標にして生産に取り組んだ結果が反映されたものと思われます。

今後は、特に雌子牛について、認定基準の体高1 $\sigma$ をクリアするため、発育向上の取り組みが必要です。

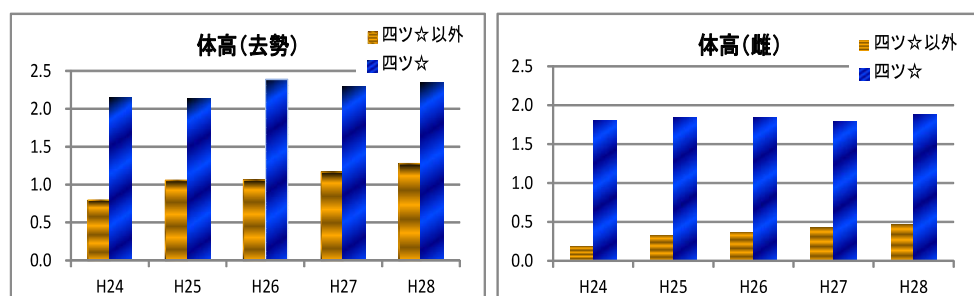


図1 体高 $\sigma$ 値の推移

## おいしい！あと一歩で四ツ☆子牛

四ツ☆子牛認定基準のうち、出荷日齢及び体測基準をクリアした子牛は、過肥、かし 瑕疵、そんちよう 損傷等がないか確認されます。その審査で不合格となった理由を表3に示しました。

中でも割合の多い「過肥」は、飼料給与量を適正に管理すれば改善が可能です。また、「爪」も出荷前の削蹄により改善が可能です。ちょっとした手入れで、評価の高い子牛づくりができ、四ツ☆子牛の認定や販売価格の向上も可能です。

表3 四ツ☆子牛不合格理由

	H25	H26	H27	H28
1位	過肥(28%)	過肥(22%)	過肥(23%)	背形状(25%)
2位	背形状(18%)	背形状(20%)	背形状(20%)	過肥(21%)
3位	肩付(17%)	肩付(19%)	肩付(17%)	肩付(21%)
4位	爪が悪い(9%)	爪が悪い(10%)	爪が悪い(10%)	爪が悪い(14%)
5位	幅がない(6%)	幅がない(6%)	過大(5%)	骨(4%)

( )は、不合格頭数に占める割合

## 最後に・・・

子牛の発育は、肥育成績にも大きく影響しています。四ツ☆子牛認定率の当面の目標は、去勢・雌ともに30%としており、今後も認定率向上を目指して、飼養管理技術の研究と情報提供を行っていきます。  
(畜産研究所)